

主体的・対話的で深い学びを実現する授業設計と最新の情報技術の活用

I 団体の概要

1. 目的・趣旨

平成15年度からの高等学校の必修教科「情報」の開始をふまえ、東京都内の高等学校等での情報教育を向上すること、東京都内の高等学校における情報教育を研究・推進する目的で設置された。

高等学校に限らず、東京都内のさまざまな学校で情報教育にかかわる方々とともに研究活動を展開することも視野に入れて活動している。また、教員に限らず、大学や専門学校等で情報教育を志す学生の方々にも参加していただいている。

主な活動としては、教科「情報」に関する研究、各教科等での情報活用の研究、学校教育の情報化に関する研究などがある。

2. 今年度の活動

現行の学習指導要領が実施されて4年目を迎える今年度は、情報科の指導内容をより深く学習する授業実践を共有することで、主体的・対話的で深い学びを実現するための授業設計について検討を行った。

また、大学入学共通テストにおける「情報Ⅰ」の実施を受け、問題の内容について分析するなど、大学受験指導にも対応できるような指導力の向上を図る活動を行った。

さらに、生成AIの活用やDXへの対応など、最新の情報技術の活用についての事例を共有することで、情報社会の進展を見据えたカリキュラムに対応するための知見を深める活動を行った。

II 研究協議会・研修会

日時：令和7年6月7日

場所：東京都立立川高等学校

大学において情報科の教員育成にも携わった経験のある、元都立高校の教員の方から「生成AIとプログラミング」というテーマで講演をしていただいた。

今後活用が進むことが考えられる生成AIを、生徒の学びの質を高める形で、どのように情報科の授業に取り込んでいくのかを考える機会となった。

日時：令和7年8月19日

場所：東京都立日野台高等学校

DXハイスクールに採択されている学校において、「デジタルモノづくり体験」として、デジタル技術を活用したモノづくりの研修を実施した。3Dプリンタやレーザー加工機などを使用し、コンピュータ内のデータとして作成されたものが、最新のデジタル機器によって実体化されることを体験した。



Ⅲ 授業ツアー

日時：令和7年5月26日
 場所：東京都立国立高等学校

本研究会では、普段の授業を見学する「授業ツアー」を実施している。この回では、「情報Ⅰ」の「情報社会の問題解決」の單元における、「情報技術の発達による人や社会への影響」の授業を見学した。

表計算ソフトウェアによるグラフの作成と、そのグラフから情報社会での格差やコミュニケーションギャップ等について考える授業が展開された。

日時：令和7年10月27日
 場所：東京都立小岩高等学校

「情報Ⅱ」における「AIを活用したプロジェクト型学習」の授業を見学した。

生成AIをチューターとして活用し、AI動作分析やスポーツデータ解析、3Dモデリングなどのプロジェクトをグループごとに進める授業が展開された。

日時：令和7年11月17日
 場所：東京都立松が谷高等学校

「情報Ⅰ」における「都立AIを用いたPython実習」の授業を見学した。

都立AIを用いて、プログラミングの基礎から応用へのステップアップを図る授業を行い、最終的に生徒がオリジナルのプログラムを作成するまで学習していく様子が見られた。



Ⅳ 教科「情報」情報交換会

日時：令和7年7月22日（第1回）、10月23日（第2回）
 場所：オンライン（第1回）、東京都立国立高等学校（第2回）

AIを活用した定期考査問題作成、夏期講習の実施状況、大学入学共通テストの概要や受験生の動向、同テストの問題の検討など、幅広い情報の交換を行った。

Ⅴ 成果と課題

大学入学共通テストにおける「情報Ⅰ」の実施を受け、高校教育における情報科の位置づけが変わるなか、大学受験の指導に対応した教員の資質の向上を図るため、本会の取り組みが機能している。

また、今後活用が進むと予想される生成AIについて、さまざまな実践事例を通して、知見を深めていくことが課題となる。

＜令和7年度連絡先＞

団体名		東京都高等学校情報教育研究会	
代表者	所属	東京都立小平西高等学校	
	職氏名	校長 福田 順子	
	連絡先	042-345-1411	
事務局	所属	東京都立小平高等学校	
	職氏名	指導教諭 小松 一智	
	連絡先	042-341-5410	
団体ホームページ	URL	https://tokojoken.jp/	二次元コード